

食品安全委員会の運営について（令和8年1月～令和8年3月）

1. 食品安全委員会の開催

1月：第1008回・1009回・1010回・1011回（4回）

（1）食品健康影響評価の要請案件（2品目）

遺伝子組換え食品等 （2品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・ RFE8922株を利用して生産されたリボフラビン（1/13） ・ JPBL014株を利用して生産されたキシラナーゼ（1/13）
--------------------	--

（2）食品健康影響評価の結果通知案件（7品目）

農薬及び動物用医薬品 （1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・ ピペロニルブトキシド（1/13） <u>ADIを0.16 mg/kg体重/日と設定し、ARfDは設定する必要がないと判断した。</u>
農薬（4品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・ フェナザキン（1/20） <u>ADIを0.0046 mg/kg体重/日、ARfDを0.1 mg/kg体重と設定。</u> ・ ベンゾピシクロン（1/20） <u>ADIを0.034 mg/kg体重/日と設定し、ARfDは設定する必要がないと判断した。</u> ・ ピラクロストロビン（1/20） <u>ADIを0.034 mg/kg体重/日、ARfDを0.05 mg/kg体重と設定。</u> ・ メトブロムロン（1/20） <u>ADIを0.0046 mg/kg体重/日、ARfDを0.015 mg/kg体重と設定。</u>
遺伝子組換え食品等 （2品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・ pLps株を利用して生産されたリパーゼ（1/13） <u>「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物に関する食品健康影響評価指針」の第1章の第2「目的及び対象となる添加物」に規定する「遺伝子組換え体と同等の遺伝子構成を持つ生細胞が自然界に存在する場合」に該当する微生物を利用して製造されたものであることから、食品健康影響評価は必要ないと判断した。</u> ・ <i>Escherichia coli</i> K-12 W3110 (pWKLP2)株を用いて生産されたプシコースエピメラーゼ（1/13） <u>「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物に関する食品健康影響評価指針」に基づき、導入遺伝子の供与体、導入</u>

	<p>される塩基配列が明らかであること等の導入遺伝子の安全性、導入遺伝子から産生されるタンパク質の毒性及びアレルギー誘発性等について確認した結果、従来の添加物と比較して新たに安全性を損なうおそれのある要因は認められなかった。</p> <p>以上のことから、「<i>Escherichia coli</i> K-12 W3110 (pWKLP2) 株を用いて生産されたプシコースエピメラーゼ」は、人の健康を損なうおそれはないと判断した。</p>
--	---

(3) その他

- ・食品安全委員会の運営（令和7年10月～令和7年12月）について報告（1/27）

2月：第1012回・1013回・1014回・1015回（4回）

(1) 食品健康影響評価の要請案件（41品目、1案件）

添加物（1案件）	<ul style="list-style-type: none"> ・亜塩素酸水（説明事項の変更）（2/3）
農薬（38品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・DCIP（2/24） ・アメトリン（2/24） ・イソフェンホス（2/24） ・イプロベンホス（2/24） ・エトフメセート（2/24） ・エトリジアゾール（2/24） ・オキサジキシル（2/24） ・オリザリン（2/24） ・カルプロパミド（2/24） ・キナルホス（2/24） ・クロルピリホス（2/24） ・ジクロフルアニド（2/24） ・シクロプロトリン（2/24） ・ジクロメジン（2/24） ・ジフェニル（2/24） ・シラフルオフエン（2/24） ・デメトン-S-メチル（2/24） ・ニコチン（2/24） ・ピラクロホス（2/24） ・フェノキシカルブ（2/24） ・ブタフェナシル（2/24） ・ブピリメート（2/24） ・フルアクリピリム（2/24） ・フルミクロラックペンチル（2/24） ・ブロモプロピレート（2/24） ・ベンダイオカルブ（2/24）

	<ul style="list-style-type: none"> ・ホメサフェン (2/24) ・メタベンズチアズロン (2/24) ・モノクロトホス (2/24) ・2,4,5-T (2/24) ・カプタホール (2/24) ・ダミノジッド (2/24) ・アフィドピロペン (2/24) ・イマザモックスアンモニウム塩 (2/24) ・クロラントラニリプロール (2/24) ・フェリムゾン (2/24) ・フルインダピル (2/24) ・ペントキサゾン (2/24)
動物用医薬品 (1 品目)	<ul style="list-style-type: none"> ・セフキノム硫酸塩を有効成分とする豚の注射剤(コバクタン/セファガード) (2/3)
遺伝子組換え食品等 (2 品目)	<ul style="list-style-type: none"> ・チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMZIR260系統(食品)(2/10) ・チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMZIR260系統(飼料)(2/10)

(2) 食品健康影響評価の結果通知案件 (38 品目、3 案件)

添加物 (1 案件)	<ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生法第 13 条第 1 項の規定に基づき定められた「食品、添加物等の規格基準」の改正 (2/17) <u>食品安全基本法第 11 条第 1 項第 1 号の「食品健康影響評価を行うことが明らかに必要でないとき」に該当すると認められた。</u>
農薬 (36 品目、1 案件)	<ul style="list-style-type: none"> ・アクリナトリンの残留基準に係る食品名の記載の整備並びに 2,4,5-T 試験法、カプタホール試験法及びダミノジッド試験法の削除 (2/24) <u>現行の規格基準の内容を変更するものではなく、形式的な改正であることから、消費者庁からの照会のとおり、食品安全基本法第 11 条第 1 項第 1 号の「食品健康影響評価を行うことが明らかに必要でないとき」に該当するものとされた。</u> ・DCIP、アメトリン、イソフェンホス、イプロベンホス、エトフメセート、エトリジアゾール、オキサジキシル、オリザリン、カルプロパミド、キナルホス、クロルピリホス、ジクロフルアニド、シクロプロトリン、ジクロメジン、ジフェニル、シラフルオフエン、デメトン-S-メチル、ニコチン、ピラクロホス、フェノキシカルブ、ブタフェナシル、ブピリメート、フルアクリピリム、フルミクロラックペンチル、プロモプロピレート、ベンダイオカルブ、ホメサフェン、メタベンズチアズロン、モ

	<p>ノクロトホス (2/24)</p> <p><u>国外において、食用及び飼料の用に供される農作物(以下「農作物」という。)並びに食用に供される動物及び食用に供される乳、卵等の生産物を生産している動物(以下「対象動物」という。)に使用される可能性は低いと考えられ、かつ当該29品目が国内において農作物及び対象動物に使用されず、かつ当該29品目が使用された農作物及び対象動物の肉、乳その他の食用に供される生産物が輸入されないことに基づき、食品衛生法第13条第3項の規定により人の健康を損なうおそれのない量として内閣総理大臣が定める量を超えないようより厳しいリスク管理措置がとられることから、食品安全基本法第11条第1項第2号の「人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるとき」に該当するものとされた。</u></p> <p>・2,4,5-T、カプタホール、ダミノジッド (2/24)</p> <p><u>食品において「不検出」とされる農薬等の成分である物質として現行のリスク管理措置が継続されるものであることから、食品安全基本法第11条第1項第2号の「人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるとき」に該当するものとされた。</u></p> <p>・フェリムゾン、ペントキサゾン (2/24)</p> <p><u>食品安全基本法第11条第1項第2号の「人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるとき」に該当するものとされた。</u></p> <p>・アフィドピロペン (2/24)</p> <p><u>ADIを0.08 mg/kg 体重/日、ARfDを0.18 mg/kg 体重と設定した。</u></p> <p>・クロラントラニリプロール (2/24)</p> <p><u>ADIを1.5 mg/kg 体重/日と設定し、ARfDは設定する必要がないと判断した。</u></p>
<p>プリオン (1 案件)</p>	<p>・ポーランドから輸入される牛肉及び牛の内臓 (2/3)</p> <p><u>諮問事項の「国際的な基準を踏まえてさらに月齢の規制閾値(30 か月齢)を引き上げた場合のリスク」に関し、ポーランドから輸入される牛肉及び牛の内臓の月齢制限を「条件なし」としたとしても、人へのリスクは無視できると判断した。</u></p>
<p>遺伝子組換え食品等 (2 品目)</p>	<p>・<i>Trichoderma reesei</i> RF5427 株を利用して生産されたキシラナーゼ (2/3)</p> <p><u>「遺伝子組換え飼料及び飼料添加物の安全性評価の考え方」</u></p>

	<p>に基づき食品健康影響評価を実施した結果、組換え体由来の新たな有害物質が生成され、肉、乳、卵等の畜産物中に移行する可能性、遺伝子組換えに由来する成分が畜産物中で有害物質に変換・蓄積される可能性及び当該成分が家畜の代謝系に作用し、新たな有害物質を産生する可能性はないと考えられることから、改めて「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物に関する食品健康影響評価指針」に準じて評価する必要はなく、当該飼料添加物を摂取した家畜に由来する畜産物については、人の健康を損なうおそれはないと判断した。</p> <p>・ STC2208 株を利用して生産された β-ニコチンアミドモノヌクレオチド (2/3)</p> <p>「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物のうち、アミノ酸等の最終産物が高度に精製された非タンパク質性添加物の安全性確認の考え方」（「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物に関する食品健康影響評価指針」別添）を準用して評価を行った結果、改めて「遺伝子組換え食品（微生物）の安全性評価基準」による評価を行う必要はなく、使用形態が現行と同等である場合に限り、比較対象とした従来食品と同等の安全性が確認されたと判断した。</p> <p>ただし、本評価は「STC2208 株を利用して生産された β-ニコチンアミドモノヌクレオチド」のリスクが従来食品に比して増加しないことを確認したものである。本食品に関するリスク管理措置を講じる際には、リスク管理機関において事業者に対し、設定した製品規格の適合遵守に加え、消費者の健康被害事例の収集等について、指導を徹底することが必要である。</p>
--	---

(3) その他

- ・ 旧農薬専門調査会で調査審議されていた農薬の取扱いについて (2/10)
- ・ 令和 7 年度食品健康影響評価技術研究課題の中間評価結果並びに令和 8 年度食品健康影響評価技術研究の採択課題（案）及び事前評価結果について (2/17)
- ・ 令和 8 年度食品安全確保総合調査課題（案）について (2/17)
- ・ 企業申請品目に係る食品健康影響評価についての標準処理期間の達成状況について (2/24)
- ・ 令和 7 年度食品安全委員会緊急時対応訓練結果及び令和 8 年度食品安全委員会緊急時対応訓練計画について決定 (2/24)
- ・ 令和 7 年度食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の案件について決定 (2/24)

3月：第1016回・1017回・1018回・1019回・1020回（5回）

(1) 食品健康影響評価の要請案件（7品目、1案件）

農薬（1品目）	・ シアゾファミド (3/17)
遺伝子組換え食品等（4品目）	・ <i>Escherichia coli</i> K-12 DH1 MDO MAP1001h 株を利用して生産された 2'-フコシルラクトース (3/10)

	<ul style="list-style-type: none"> ・H-ELP 株を利用して生産された α-アミラーゼ (3/10) ・除草剤グリホサート及びグルホシネート耐性ダイズ DBN9004 系統 (食品) ・除草剤グリホサート及びグルホシネート耐性ダイズ DBN9004 系統 (飼料)
飼料添加物 (1 案件)	<ul style="list-style-type: none"> ・飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令 (昭和 51 年農林省令第 35 号) の改正 (アンプロリウム・エトパベート及びアンプロリウム・エトパベート・スルファキノキサリン) (3/31)
動物用医薬品 (2 品目)	<ul style="list-style-type: none"> ・プラドフロキサシン (3/17) ・豚サーコウイルス (2 型・組換え型) 感染症・豚繁殖・呼吸障害症候群・マイコプラズマ・ハイオニューモニエ感染症 (カルボキシビニルポリマーアジュバント加) 混合ワクチン (シード) (インゲルバック 3 フレックス) (3/24)

(2) 食品健康影響評価の結果通知案件 (5 品目、4 案件)

農薬 (1 品目)	<ul style="list-style-type: none"> ・ニトラピリン (3/10) ADI を 0.03 mg/kg 体重/日、ARfD を 0.16 mg/kg 体重と設定した。
動物用医薬品 (1 品目)	<ul style="list-style-type: none"> ・豚サーコウイルス (2 型・組換え型) 感染症・豚繁殖・呼吸障害症候群・マイコプラズマ・ハイオニューモニエ感染症 (カルボキシビニルポリマーアジュバント加) 混合ワクチン (シード) (インゲルバック 3 フレックス) (3/24) 食品安全基本法第 11 条第 1 項第 2 号の人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるときに該当すると認められた。
微生物・ウイルス (2 案件)	<ul style="list-style-type: none"> ・家畜伝染病予防法 (昭和 26 年法律第 166 号) 第 2 条第 1 項に基づく政令の改正及び第 62 条第 1 項に基づく政令の廃止 (3/31) ・と畜場法施行規則 (昭和 28 年厚生省令第 44 号) の一部改正 (3/31) ランピースキン病を家畜伝染病予防法第 2 条第 1 項の家畜伝染病に追加するという法改正に伴い、同病の家畜の種類を家畜伝染病予防法施行令第 1 条の表に規定すること及びランピースキン病を家畜伝染病予防法第 62 条第 1 項の疾病の種類として指定する等の政令を法改正の施行と同時に廃止するというもので、同法の改正に伴う形式的な改正であり、対象となる家畜の疾病、ランピースキン病については、人には感染しないとされ、令和 6 年 3 月に公表した、食品安全委員会動物用医薬品評価書、ランピースキン病生ワクチンを接種した牛に由来する食品の安全性において、ランピースキン病ウイルスは人獣共

	<p>通感染症の病原体ではなく、人へは伝播しないと結論づけられていることから、当該家畜の疾病に由来する人への健康への悪影響があるとは考えられない。</p> <p>また、ランピースキン病を家畜伝染病予防法第2条第1項の家畜伝染病に追加するという法改正に伴い、と畜場法第14条第6項第2号に基づき、と畜場法施行規則別表3で規定されるランピースキン病を削除する必要があるというもので、同法の改正に伴う形式的な改正であるものである。</p> <p>このため、食品安全基本法第11条第1項第1号の「食品健康影響評価を行うことが明らかに必要でないとき」に該当するものと判断した。</p>
<p>遺伝子組換え食品等（3品目）</p>	<p>・ DN-E4 株を利用して生産された L-エルゴチオネイン（3/3） 「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物のうち、アミノ酸等の最終産物が高度に精製された非タンパク質性添加物の安全性確認の考え方」を準用して評価を行った結果、改めて「遺伝子組換え食品（微生物）の安全性評価基準」による評価を行う必要はなく、使用形態が現行と同等である場合に限り、比較対象とした従来食品と同等の安全性が確認されたと判断した。ただし、本評価は「DN-E4 株を利用して生産された L-エルゴチオネイン」のリスクが従来食品に比して増加しないことを確認したものであり、本食品に関するリスク管理措置を講じる際には、リスク管理機関において事業者に対し、設定した製品規格の適合遵守に加え、消費者の健康被害事例の収集等について、指導を徹底することが必要であるとされた。</p> <p>・ <i>Bacillus subtilis</i> NTI06 (pHYT2PsBG) 株を利用して生産された β-グルコシダーゼ（3/10） 「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物に関する食品健康影響評価指針」に基づき、導入遺伝子の供与体、導入される塩基配列が明らかであること等の導入遺伝子の安全性、導入遺伝子から産生されるタンパク質の毒性、アレルギー誘発性等について確認した結果、従来の添加物と比較して新たに安全性を損なうおそれのある要因は認められず、人の健康を損なうおそれはないと判断した。</p> <p>・ RFE8922 株を利用して生産されたリボフラビン（3/31） 「RFE8922 株を利用して生産されたリボフラビン」については「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物に関する食品健康影響評価指針」に基づき、導入遺伝子の供与体、導入される塩基配列が明らかであること等の導入遺伝子の安全性、導入遺伝子から産生されるタンパク質の毒性及びアレルギー誘発性等について確認した結果、従来の添加物と比較して新たに安全性を損なうおそれのある要因は認められなかった。以上のことから、「RFE8922 株を利用して生産されたリボフラビン」は、人の健康を損なうおそれはないと判断した。</p>

<p>飼料添加物（2 案件）</p>	<p>・飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令（昭和 51 年農林省令第 35 号）別表第 2 の 6 及び 8 の改正（3/31） <u>アルギン酸ナトリウムの規格において、品質を確保することを目的に定められた強熱残分の規格を現物の測定値による規定から乾燥物換算した値による規定に改正するとともに、強熱残分の試験法を改正するものである。その他の規格及び基準の改正は伴わず、人の健康に影響を及ぼさないことから、食品安全基本法第 11 条第 1 項第 1 号の「食品健康影響評価を行うことが明らかに必要でないとき」に該当するものと認められた。</u></p> <p>・飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令（昭和 51 年農林省令第 35 号）の改正（アンプロリウム・エトパベート及びアンプロリウム・エトパベート・スルファキノキサリン）（3/31） <u>飼料添加物「アンプロリウム・エトパベート・スルファキノキサリン」については、飼料添加物としての指定の取消しに伴いその基準及び規格を廃止するものであり、人の健康に悪影響を及ぼすおそれはないと考えられる。飼料添加物「アンプロリウム・エトパベート」については、エトパベートに係る基準及び規格を廃止するものであり、アンプロリウムに係る基準及び規格は変更されず、飼料添加物として使用されている実態において人の健康に及ぼす影響が変わるものではないと考えられる。このため、食品安全基本法第 11 条第 1 項第 2 号の「人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるとき」に該当するものと認められた。</u></p>
--------------------	---

(3) その他

- ・令和 8 年度食品安全モニターの依頼について（報告）（3/10）
- ・ファクトシート（アレルゲンを含む食品（落花生、くるみ））（3/24）
- ・令和 8 年度食品安全委員会運営計画について決定（3/31）

2. 専門調査会等の運営（全 29 回）

専門調査会等名	開催回数	調査審議案件
企画等	1 回	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 8 年度食品安全委員会運営計画（案）について、令和 7 年度食品安全委員会緊急時対応訓練の実施結果及び令和 8 年度食品安全委員会緊急時対応訓練計画（案）について、令和 7 年度食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の案件候補の選定について（2/13）
添加物	1 回	<ul style="list-style-type: none"> ・亜塩素酸水（3/5）
農薬第一	3 回	<ul style="list-style-type: none"> ・ジノテフラン（1/19） ・グリホサート（2/19） ・シクロキシジム（3/11）

		・令和5～6年度食品健康影響評価技術研究成果の報告等 (3/11)
農薬第二	3回	・フェンメゾジチアズ (1/29) ・イプトリアゾピリド (1/29、2/25、3/30) ・アシノナピル (3/30)
農薬第三	1回	・メタラキシル及びメフェノキサム (3/16)
農薬第四	2回	・フロリルピコキサミド (2/16) ・シアナジン (3/12)
農薬第五	2回	・メタミトロン (2/2) ・エチプロール (3/6)
動物用医薬品	2回	・クロルマジノン (2/5、3/18)
微生物・ウイルス	1回	・鶏肉中のカンピロバクター・ジェジュニ/コリによる健康影響について (3/9)
プリオン	2回	・牛海綿状脳症 (BSE) 国内対策の見直し (SRMの範囲)に係る食品健康影響評価について (2/17、3/5)
かび毒・自然毒等	2回	・オクラトキシンA (2/20、3/18)
遺伝子組換え食品等	3回	・RFE8922株を利用して生産されたリボフラビン (1/26) ・JPBL014株を利用して生産されたキシラナーゼ (1/26) ・チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMZIR260系統 (食品・飼料) (2/20) ・ <i>Escherichia coli</i> K-12 DH1 MD0 MAP1001h株を利用して生産された2'-フコシルラクトース (3/25) ・H-ELP株を利用して生産された α -アミラーゼ (3/25)
肥料・飼料等	1回	・たん白質の加水分解により製造された塩酸L-ヒスチジンを原体とする飼料添加物 (3/13) ・セフキノム硫酸塩を有効成分とする牛及び豚の注射剤 (コバクタン/セファガード) (3/13) ・セフキノム (3/13)
評価技術ワーキンググループ	1回	・食品健康影響評価におけるリードアクロスの活用について (2/16)
薬剤耐性菌に関するワーキンググループ	1回	・家畜に使用するキノロン系合成抗菌剤に係る薬剤耐性菌に関する食品健康影響評価について (3/11)
食事由来の化学物質のばく露評価ワーキンググループ	2回	・食事由来の化学物質のばく露評価について (2/18、3/23)
ビスフェノールAワーキンググループ	1回	・令和7年度食品安全確保総合調査 (ビスフェノールAに係る国際機関等の評価及び科学的知見の情報収集並びに整理) 調査結果報告 (3/19) ・ビスフェノールAの今後の進め方について (3/19)

3. 意見交換会の開催等

(1) 講師派遣 (全6回、うち委員4回)

--	--	--	--	--

開催日	開催地	講演会名	依頼者	対象者
2 / 13	宮城県	食品の安全性に関する WEB 講演会「知って防ごう食中毒」 (事務局)	仙台市	一般消費者、事業者、行政職員
2 / 27	山梨県	令和 7 年度山梨県公衆衛生獣医師協議会研修会「科学的根拠に基づく食品安全評価と公衆衛生獣医師の役割」 (山本シニアフェロー)	山梨県公衆衛生獣医師協議会	山梨県公衆衛生獣医師、山梨県職員
3 / 11	栃木県	子育て世代（保護者）を対象としたリスクコミュニケーション「おいしくて安全な加熱調理のポイント」 (杉山委員)	栃木県	一般市民（子育て世代）
3 / 16	長野県	食の安全学習会（食中毒防止など） 「加熱不足による食中毒を防ぎたい～肉を安全に調理するポイント～」 (杉山委員)	生活協同組合コープながの	コープながの組合員、コープながの職員、行政職員
3 / 29	大阪府	日本薬学会第 146 年会 特別講演 「食品安全におけるリスク評価」 (祖父江委員長)	日本薬学会第 146 年会	大学教員、学生
3 / 29	大阪府	日本薬学会第 146 年会 食品安全行政を支えるアカデミアの人材育成に向けて (シンポジウム) 「食品安全の枠組みとアカデミアへの期待（食品安全委員会の観点から）」 (浅野委員)	消費者庁	日本薬学会会員等

(2) 学会等ブース出展（全 3 回）

開催日	開催地	学会名
1 / 29、 30	長崎県	第 36 回日本疫学会学術総会・第 3 回国際疫学会西太平洋地域合同学術集会
3 / 16、 17	島根県	日本農薬学会第 51 回大会
3 / 27～ 29	大阪府	日本薬学会第 146 年会

(3) 関係省庁との連携（全 4 回）

開催日	開催地	イベント名	対象	共催団体
2 / 9 2 / 19 2 / 25 3 / 12	宮城県 福岡県 大阪府 東京都	食品安全に関する意見交換会（放射性物質、食品添加物及び農薬等）	一般消費者	消費者庁、厚生労働省、農林水産省

4. 情報提供

(1) Facebook、ブログ

健康に被害を及ぼすおそれのある案件、国民の関心が高い案件についての機動的な情報提供。

■ 1月：14記事

閲覧数 (Facebook) 27,358人/月、(ブログ) 1,902人/月

投稿日	記事内容
1/7	食品安全委員会の委員の新体制について
1/8	お餅による窒息事故に注意
1/9	食品安全委員会では、令和8年度「食品安全モニター」を募集中です。
1/9	【食品安全委員会 1/5～1/9の公表及び更新事項】
1/13	【食品安全委員会事務局 技術参与(非常勤一般職国家公務員)募集】
1/13	1/13に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
1/16	<締切迫る！>食品安全委員会では、令和8年度「食品安全モニター」を23日(金)まで募集中です。
1/16	【食品安全委員会 1/13～1/16の公表及び更新事項】
1/20	1/20に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
1/23	【食品安全委員会 1/19～1/23の公表及び更新事項】
1/27	セレウス菌による食中毒の予防について
1/27	【参加募集】令和7年度食品健康影響評価技術研究成果発表会を開催します(3/2(月)14:00～web開催、申込締め切り2/16(月)17:00)
1/27	1/27に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
1/30	【食品安全委員会 1/26～1/30の公表及び更新事項】

■ 2月：10記事

閲覧数 (Facebook) 人21,857/月、(ブログ) 1,981人/月

投稿日	記事内容
2/3	2/3に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
2/4	ノロウイルス食中毒が多発。食品の衛生に十分注意！
2/6	【食品安全委員会 2/2～2/6の公表及び更新事項】
2/10	2/10に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
2/13	【食品安全委員会 2/9～2/13の公表及び更新事項】
2/17	【松永委員出演！】消費者庁が株式会社ユーザベースのNewsPicksと制作したトーク番組のお知らせ
2/17	2/17に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
2/20	【食品安全委員会 2/16～2/20の公表及び更新事項】
2/24	2/24に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
2/27	【食品安全委員会 2/24～2/27の公表及び更新事項】

■ 3月：15記事

閲覧数 (Facebook) 24,406 人/月、 (ブログ) 2,449 人/月

投稿日	記事内容
3/3	3/3に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
3/3	生の鶏肉は危険がいっぱい
3/6	【食品安全委員会 3/2～3/6の公表及び更新事項】
3/10	3/10に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
3/12	「食品の安全性に関する用語集」を紹介します。
3/13	【食品安全委員会 3/9～3/13の公表及び更新事項】
3/17	3/17に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
3/18	👁️ うんこドリル×食品安全委員会！？
3/19	食品安全委員会の英文電子ジャーナル「Food Safety - The Official Journal of Food Safety Commission」Vol. 14, No.1を公開しました。
3/19	"Food Safety - The Official Journal of the Food Safety Commission of Japan" Volume 14, Issue 1 has just been published.
3/23	【食品安全委員会 3/16～3/19の公表及び更新事項】
3/24	3/24に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
3/25	アレルギーを含む食品（落花生、くるみ）のファクトシート（科学的知見に基づく概要書）を公表しました。
3/27	【食品安全委員会 3/23～3/27の公表及び更新事項】
3/31	3/31に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。

(2) X (旧 Twitter)

食中毒の防止法等、一般消費者にとって身近に関心（共感）の高いものや、タイムリーなもの、緊急性の高いものを中心に情報発信。

■ 1月：12記事

フォロワー 3,919 人

投稿日	記事内容
1/7	1月7日、食品安全委員会の委員の新体制が決定しました。山本茂貴委員長が退任し、新たに春日文子委員が就任しました。委員長には祖父江友孝委員が選任されました。 食品安全委員会委員名簿
1/8	年末年始でお餅をのどに詰まらせる事故が多く報告されております。お年寄りなど食べ物をかむ力や飲み込む力が弱い方は注意が必要です。事故を防ぐためには、口に詰め込まず、飲み物と一緒に少しずつ、よくかんでから飲み込みましょう。
1/8	＼近畿地方のみなほん／ 滋賀の鯖の棒ずし、京都名産千枚漬、大阪の小田巻き蒸し、兵庫のゆで松葉ガニ、奈良のっぺ、和歌山の有田みかん…。冬は近畿も“ええもん”だらけやなあ。

	食の安全を守るために、ちょっと手伝うてほしいねん。 応募は1月23日まで。頼むし応募してな～！
1/9	＼東北地方のみなさん／ 青森の大間まぐろ、岩手のまめぶ汁、宮城のほっきめし、秋田のきゃのっこ汁、山形のどんがら汁、福島のおひら 雪国の“食”はおいしいものがいっぱいだべ。 安全に食するために、食品安全モニターさ応募してけるな～！ 応募の締切は1月23日（金）だっちゃ
1/13	現在、食品安全委員会事務局では、情報収集、広報・リスクコミュニケーション、WEB サイト管理の業務補助及びリスク評価の業務補助を担当する技術参加を募集しています。 ご応募を心よりお待ちしております。 応募資格、提出書類、勤務条件などの詳細はこちらをご覧ください。
1/14	＼北海道のみなさん／ ほたてに、いくらに、味噌バターコーンラーメン… しばれる北海道の冬もなまらうまい。 うまいものは安全に楽しみたいよね～。したっけ、道民の声きかせてほしいべさ。 応募は1月23日まで。食品安全モニターぜひ応募してみてね～！
1/16	【締切迫る！モニター募集】 食品の安全について日頃感じている課題や問題点はありませんか？#食品安全モニターとして国に直接提案・報告できるチャンスです！あなたの意見やアイデアを食品の安全性確保に活かしてみませんか？ 応募締切は1月23日(金)です+.:。:? 応募してみる
1/19	[締め切り迫る！] 食品安全委員会では食品安全モニターを大募集！ 食品の安全について日頃感じている課題や問題点はありませんか？食品安全モニターとして国に直接提案・報告できるチャンスです！あなたの意見を食品の安全性確保に活かしてみませんか？ 応募締切は1月23日(金)
1/21	【明後日まで】 食品安全委員会では食品安全モニターを大募集！食品の安全に日頃感じている課題や問題点はありませんか？食品安全モニターとして国に直接提案・報告できるチャンスです！あなたの意見やアイデアを食品の安全性確保に活かしてみませんか？ 応募締切は1月23日(金)
1/22	【明日まで】 食品安全委員会では食品安全モニターを募集中！食品の安全に日頃感じている課題や問題点はありませんか？食品安全モニターとして国に直接提案・報告できるチャンスです！あなたの意見やアイデアを食品の安全性確保に活かしてみませんか？ 応募締切は1月23日(金)
1/23	【まだ間に合う！本日中まで】 食品安全委員会では食品安全モニターを大募集！本日がラストチャンスです！！食品安全モニターとしてあなたの意見を国に直接提案してみませんか！ 応募締切は1月23日。 お待ちしております
1/27	国外において、ネスレ社（スイス）などで、乳幼児用粉ミルクに毒素「セレウリド」含有の可能性から自主回収が行われています。回収対象品の我が国へ

	の輸入は確認されていません（1月23日時点）。最新情報は厚生労働省ウェブサイト参照。食中毒対策のためにセレウス菌食中毒の対策を紹介します。
--	---



■ 2月：2記事

フォロワー 3,978人

投稿日	記事内容
2/4	ノロウイルス食中毒事例が多発しています。食品を扱う方は衛生管理に今一度注意を。また、自覚症状がなくてもノロウイルスに感染している場合があります。 食中毒を防ぐ基本は「手洗い」です！また、食品の中心部分が90秒間以上85℃～90℃もノロウイルス不活化に効果があります。
2/17	「食品の安全リテラシー」をテーマに、消費者庁が株式会社ユーザベースのNewsPicksと制作したトーク番組が配信中です。本番組に松永和紀委員が出演し、成田修造さん、宮村優子さん、杉浦太陽さんと食品安全に係る身近な疑問などについてフリートークを繰り広げています。

■ 3月：4記事

フォロワー 4,021人

投稿日	記事内容
3/3	生の鶏肉は危険がいっぱい。飲食店の提供する生の鶏肉は安全であるとは言いきれません。鶏肉にはカンピロバクターという菌がいることがあります。食品安全委員会ではカンピロバクター食中毒を予防するための情報を公開しています。
3/12	食品安全委員会のWebサイトでは、「食品の安全性に関する用語集」を公開しています。食品安全委員会のリスク評価では専門用語が多く使われています。それらの専門用語を分野ごとにまとめています。食品の安全性に関する情報をより詳しく理解するために是非ご活用ください。
3/18	 食べものの安全を、うんこで学ぼう  食品安全委員会とうんこドリルが、まさかのコラボ！？ 「入っている＝キケン？」、「食品の安全はだれが守ってるの？」 みんなの疑問に、まじめに答える一冊です。ぜひご覧ください。
3/25	食物アレルギーについては、日頃からの対策や正確な情報を得ることが大切です。3月24日、アレルゲンを含む食品（落花生、くるみ）のファクトシート（科学的知見に基づく概要書）を公表しました。食物アレルギーのある方やそのご家族などにご覧いただき、お役立てください。

食品健康影響評価の審議状況

2026. 3.31現在

区分	諮問案件						自ら評価
	要請件数 注1、2)	うち 令和7年 度分	審議中 注3)	意見 募集中 注4)	評価終了 件数	うち 令和7年 度分	評価終了 注5)
添加物	318	0	2	0	316	5	
農薬	1551	97	167	6	1378	88	
うちポジティブリスト関係	542	0	124	0	418	5	
うち清涼飲料水	25	0	0	0	25	0	
うち飼料中の残留農薬基準 ^(注6)	59	0	16	0	43	0	
動物用医薬品	685	7	8	1	676	13	
うちポジティブリスト関係	140	0	7	0	133	1	
器具・容器包装	24	0	0	0	24	0	
汚染物質等	68	0	0	0	68	0	3
うち清涼飲料水	52	0	0	0	52	0	
微生物・ウイルス	23	1	0	0	23	1	2
プリオン	72	0	7	0	65	1	14
かび毒・自然毒	10	0	1	0	9	0	5
遺伝子組換え食品等	433	26	18	0	415	30	
新開発食品	91	0	0	0	91	0	3
肥料・飼料等	346	10	14	0	332	13	
うちポジティブリスト関係	142	0	10	0	132	1	
薬剤耐性菌 ^(注7)	76	2	9	0	67	1	1
高濃度にジアシルグリセロールを含む食品に関するWG	1				1		
食品による窒息事故に関するWG	1				1		
放射性物質の食品健康影響に関するWG	2				2		
アレルゲンを含む食品に関するWG							1
栄養成分添加物WG	3	0	1	0	2	0	
香料WG	7	0	0	0	7	0	
有機フッ素化合物(PFAS)WG	2	0	0	0	2	0	1
ビスフェノールA WG	1	0	1	0	0	0	
その他(指定成分、アルミニウム等)	2				2		1
合計	3716	143	228	7	3481	152	31

- (注) 1 リスク管理機関から、評価要請後に取り下げ申請があった場合には、その分を要請件数から減じている。
 2 評価の過程で新たに審議する必要がある案件が生じた場合には、評価終了時にその案件数を要請件数に加算している。
 3 「審議中」欄には、審議継続の案件のほか、今後検討を開始するものを含む。
 4 「意見募集中」欄には、意見情報の募集を締め切った後に検討中のものも含む。
 5 自ら評価案件については、「評価終了」の欄では、複数省庁に答申したものの、答申が複数案件となったもの等について、その数を記入しているものもある。
 6 「飼料中の残留農薬基準」欄については、ポジティブリスト制度の導入に際して、飼料中の残留基準が設定された農薬についての食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件数である。
 7 「薬剤耐性菌」欄には、肥飼料・微生物合同調査会(H18.3.6~H27.8.24)で審議したものも含む。

委員会の意見の聴取に関する案件の審議状況

(2026年3月31日現在)

参考2

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2003/12/8	農	薬剤耐性菌 テトラサイクリン系抗生物質（薬剤耐性菌）【薬事法】（水産）※	1
2003/12/8	農	薬剤耐性菌 マクロライド系抗生物質（薬剤耐性菌）【薬事法】（水産）※	1
2003/12/8	農	薬剤耐性菌 スルフォアミド系合成抗菌剤（薬剤耐性菌）【薬事法】（水産）※	1
2004/10/29	農	薬剤耐性菌 アンピシリンナトリウムを有効成分とする牛の注射剤（注射用ビクシリン）【再審査】■	1
2004/10/29	農	薬剤耐性菌 チアンフェニコールを有効成分とする牛及び豚の注射剤（ネオマイゾン注射液及びバシット注射液）【再審査】■	1
2005/2/14	厚	農薬 ジコホールー	1
2005/8/5	農	肥料・飼料等 スルファメトキサゾール及びトリメトプリムを有効成分とする豚の飲水添加剤（動物用シノラル液）【再審査】■	1
2006/7/18	厚	農薬 ジコホール☆	1
2006/12/19	厚	農薬 フリラゾール☆	1
2007/1/12	厚	農薬 イマゼタピルアンモニウム塩☆	1
2007/1/12	厚	農薬 ピノキサデン☆	1
2007/2/6	厚	農薬 スピロキサミン☆	1
2007/2/6	厚	動物用医薬品 アレスリン☆	1
2007/2/6	厚	動物用医薬品 クロルマジノン☆	1
2007/3/6	厚	農薬 トリチコナゾール☆	1
2007/6/5	厚	農薬 メソスルフロンメチル☆	1
2007/6/5	厚	農薬 スルフェントラゾン☆	1
2007/12/18	厚	農薬 クロピラリド☆	1
2007/12/18	厚	農薬 イソキサジフェンエチル☆	1
2008/3/11	厚	農薬 酸化プロピレン☆	1
2008/3/11	厚	農薬 プロディファコウム☆	1
2008/3/25	厚	農薬 イプロバリカルブ☆	1
2008/3/25	厚	農薬 ピリデート☆	1
2008/3/25	厚	農薬 フッ化スルフルル☆	1
2008/7/8	厚	農薬 クロキントセットメキシル☆	1
2008/7/8	厚	農薬 クロジナホッププロパルギル☆	1
2008/7/8	厚	器具・容器包装 ビスフェノールAがヒトの健康に与える影響について※	1
2009/2/3	厚	農薬及び動物用医薬品 ホキシム☆	2
2009/2/9	厚	農薬 エチオン☆	1
2009/2/9	厚	農薬 オキシデメトンメチル☆	1
2009/2/9	厚	農薬 ジクロラン☆	1
2009/2/9	厚	農薬 ジノカップ☆	1
2009/2/9	厚	農薬 フェンプロピモルフ☆	1
2009/2/9	厚	農薬 ベナラキシル☆	1
2009/2/9	厚	農薬 ホレート☆	1
2009/3/24	厚	農薬 パラチオンメチル☆	1
2009/3/24	厚	農薬及び動物用医薬品 ジクロルボス及びナレド☆	2
2010/2/16	厚	肥料・飼料等 アスタキサンチン（対象外物質）☆	1

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2010/2/16	厚	肥料・飼料等 β-アポ-8'-カロチン酸エチルエステル (対象外物質) ☆	1
2010/2/16	厚	肥料・飼料等 β-カロテン (対象外物質) ☆	1
2010/2/16	厚	肥料・飼料等 酒石酸 (対象外物質) ☆	1
2010/2/16	厚	肥料・飼料等 トウガラシ色素 (対象外物質) ☆	1
2010/2/16	厚	肥料・飼料等及び農薬 乳酸 (対象外物質) ☆	2
2010/2/16	厚	肥料・飼料等 マリーゴールド色素 (対象外物質) ☆	1
2010/2/16	厚	肥料・飼料等 メナジオン (対象外物質) ☆	1
2010/2/16	厚	肥料・飼料等 レチノール (対象外物質) ☆	1
2010/3/1	厚	農薬 フルロキシピル☆	1
2010/5/11	厚	農薬 クロルデン☆	1
2010/8/12	厚	農薬 ハロキシホップ☆	1
2010/9/13	厚	農薬 クロマゾン☆	1
2010/9/13	厚	農薬 トリクロピル☆	1
2010/9/27	厚	農薬 酸化フェンブタズ☆	1
2010/11/12	厚	農薬 イマザリル☆	1
2010/11/12	厚	農薬 ジフルフェンゾピル☆	1
2010/11/12	厚	農薬 ジメチピン☆	1
2010/11/12	厚	農薬 テルブホス☆	1
2010/11/12	厚	農薬 トリアスルフロン☆	1
2010/11/12	厚	農薬 パラチオン☆	1
2010/11/12	厚	農薬 ビンクロゾリン☆	1
2010/11/15	農	農薬 テルブホス (飼料中) ☆	1
2010/12/10	厚	農薬及び動物用医薬品 クロルフェンビンホス☆	2
2010/12/10	厚	農薬及び動物用医薬品 メトプレン☆	2
2010/12/10	農	農薬 メトプレン(飼料中) ☆	1
2011/1/24	厚	農薬 ペンコナゾール☆	1
2011/2/10	厚	農薬 エンドスルフアン☆	1
2011/2/10	厚	農薬 クロリムロンエチル☆	1
2011/3/25	厚	農薬 エタメツルフロンメチル☆	1
2011/3/25	厚	農薬 ジスルホトン☆	1
2011/3/25	厚	農薬 プロモキシニル☆	1
2011/4/19	厚	添加物 カルミン-	1
2011/4/25	農	農薬 プロモキシニル (飼料中) ☆	1
2011/9/22	厚	農薬 2,4-DB☆	1
2011/9/22	厚	農薬 EPTC☆	1
2011/9/22	厚	農薬 アミノピラリド☆	1
2011/9/22	厚	農薬 イオドスルフロンメチル☆	1
2011/9/22	厚	農薬 クロルスルフロン☆	1
2011/9/22	厚	農薬 シクロキシジム☆	1
2011/9/22	厚	農薬 ジフェンゾコート☆	1
2011/9/22	厚	農薬 テクナゼン☆	1
2011/9/22	厚	農薬 ニコスルフロン☆	1

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2011/9/22	厚	農薬 マレイン酸ヒドラジド☆	1
2011/9/22	厚	農薬 メトスルフロンメチル☆	1
2011/10/11	厚	農薬 ジクロホップメチル☆	1
2011/10/11	厚	農薬 トリベヌロンメチル☆	1
2011/10/11	厚	農薬 ピクロラム☆	1
2011/10/11	厚	農薬 フェノキサプロップエチル☆	1
2011/10/11	厚	農薬 フルオメツロン☆	1
2011/10/11	厚	農薬 アトラジン☆	1
2011/10/11	農	農薬 アトラジン (飼料中) ☆	1
2011/11/18	厚	農薬 トラルコキシジム☆	1
2011/11/18	厚	農薬 プロスルフロン☆	1
2011/12/19	厚	プリオン 牛海綿状脳症 (BSE) 対策の見直し (オランダ) ②&※	1
2012/1/23	厚	農薬及び動物用医薬品 シハロトリン☆	2
2012/1/23	農	農薬 エチオン (飼料中) ☆	1
2012/1/23	農	農薬 ホレート (飼料中) ☆	1
2012/1/23	農	農薬 シハロトリン (飼料中) ☆	1
2012/1/23	農	農薬 ジクローボス及びナレド (飼料中) ☆	1
2012/3/26	厚	農薬 リムスルフロン☆	1
2012/5/21	厚	農薬 4-クロルフェノキシ酢酸☆	1
2012/5/21	厚	農薬 トリデモルフ☆	1
2012/5/21	厚	農薬 フラムプロップメチル☆	1
2012/7/18	厚	農薬 テフルトリン☆	1
2012/8/21	厚	農薬 フサライド☆	1
2012/8/21	厚	農薬 フルスルファミド☆	1
2012/9/18	厚	農薬 メコプロップ☆	1
2013/1/22	農	農薬 クロルピリホスメチル (飼料中) ☆	1
2013/1/22	農	農薬 クロルフェンビンホス (飼料中) ☆	1
2013/1/22	農	農薬 シマジン (飼料中) ☆	1
2013/1/22	農	農薬 パラチオン (飼料中) ☆	1
2013/1/30	厚	農薬 クロルピリホスメチル☆	1
2013/1/30	厚	農薬 シマジン☆	1
2013/3/12	厚	農薬 アイオキシニル☆	1
2013/3/12	厚	農薬 エテホン☆	1
2013/3/12	厚	農薬 オキサミル☆	1
2013/3/12	厚	農薬 カルフェントラゾンエチル☆	1
2013/3/12	厚	農薬 クロリダゾン☆	1
2013/3/12	厚	農薬 ターバシル☆	1
2013/3/12	厚	農薬 ピリミホスメチル☆	1
2013/3/12	厚	農薬 フルシトリネート☆	1
2013/3/12	厚	農薬 ホルクロルフェニユロン☆	1
2013/3/12	厚	農薬 メタミトロン☆	1
2013/3/12	厚	農薬 メチダチオン☆	1

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2013/3/12	厚	農薬 レナシル☆	1
2013/3/13	農	農薬 ピリミホスメチル (飼料中) ☆	1
2013/6/10	農	農薬 γ -BHC (飼料中) ☆	1
2013/6/10	農	農薬 ジメトエート (飼料中) ☆	1
2013/6/10	農	農薬 メチダチオン (飼料中) ☆	1
2013/6/12	厚	農薬 アラニカルブ☆	1
2013/6/12	厚	農薬 イマザキン☆	1
2013/6/12	厚	農薬 ジウロン☆	1
2013/6/12	厚	農薬 シプロコナゾール☆	1
2013/6/12	厚	農薬 ジメトエート☆	1
2013/6/12	厚	農薬 フルキンコナゾール☆	1
2013/8/20	厚	農薬 DBEDC■ 〈一部☆〉	2
2013/8/20	厚	農薬 ノニルフェノールスルホン酸銅■ 〈一部☆〉	2
2013/8/20	厚	農薬 イマザモックスアンモニウム塩☆	1
2013/8/20	厚	農薬 ヒメキサゾール☆	1
2013/8/20	厚	農薬 メトリブジン☆	1
2013/8/20	厚	農薬 リニューロン☆	1
2013/8/20	厚	肥料・飼料等及び農薬 ジヒドロストレプトマイシン及びビストレプトマイシン☆	2
2014/9/9	厚	農薬 ピラゾリネート☆	1
2015/5/14	厚	プリオン スイスから輸入される牛肉及び牛の内臓※	1
2015/5/14	厚	プリオン リヒテンシュタインから輸入される牛肉及び牛の内臓※	1
2015/9/30	厚	プリオン イタリアから輸入される牛肉及び牛の内臓※	1
2015/12/18	厚	プリオン 牛海綿状脳症 (BSE) 国内対策の見直し&※	1
2015/12/18	消	プリオン 牛海綿状脳症 (BSE) 国内対策の見直し&※	1
2017/4/19	厚	農薬 ピレトリン☆	1
2017/8/3	厚	プリオン 英国から輸入される牛の肉及び内臓※	1
2017/11/30	厚	遺伝子組換え食品等 ミラクリン発現トマトTU-IP105B-1(食品)■	1
2017/12/20	農	遺伝子組換え食品等 ミラクリン発現トマトTU-IP105B-1(飼料)■	1
2018/7/4	農	薬剤耐性菌 バルネムリン塩酸塩を有効成分とする豚の飼料添加剤(エコノアプレミックス1%及びエコノアプレミックス10%)※再審査■	1
2019/2/27	農	薬剤耐性菌 アモキシシリン水和物を有効成分とする牛及び豚の注射剤(アモスタックLA注)※再審査■	1
2019/10/24	厚	遺伝子組換え食品等 チョウ目害虫抵抗性サトウキビ CTC175-A■	1
2022/4/21	厚	農薬及び動物用医薬品 シペルメトリン■	1
2022/12/1	厚	添加物 亜塩素酸水■	1
2022/12/14	厚	農薬 チオジカルブ及びメソミル☆	1
2022/12/14	農	農薬 アセタミプリド※	1
2022/12/14	農	農薬及び動物用医薬品 ジノテフラン※	1
2022/12/14	農	動物用医薬品 クロチアニジンとd・d-T80-プラレトリンを有効成分とする畜舎噴霧剤(ヌーベルショット、トリプルアクセル)■	1
2023/1/10	厚	遺伝子組換え食品等 Trichoderma reesei RF6197株を使用して生産されたペクチナーゼ■	1

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2023/1/10	厚	遺伝子組換え食品等 Trichoderma reesei RF6201株を使用して生産されたペクチナーゼ■	1
2023/1/25	農	農薬 グリホサート※	1
2023/3/22	農	農薬 フサライド※	1
2023/8/31	厚	農薬 ジアフェンチウロン〈一部☆〉	2
2023/11/21	厚	農薬 フルペンチオフェノックス■	1
2024/2/7	厚	遺伝子組換え食品等 Saccharomyces cerevisiae NS470 (CBS 615.94) 株を利用して産生されたα-ガラクトシダーゼ■	1
2024/2/28	厚	かび毒・自然毒 食品中のオクラトキシンAの規格基準の設定についてー	1
2025/1/8	消	遺伝子組換え食品等 Trichoderma reesei RF6199株を利用して生産されたペクチナーゼ■	1
2025/2/10	消	遺伝子組換え食品等 JPAo013株を利用して生産されたホスホリパーゼ■	1
2025/3/18	消	その他(WG等) グルコン酸銅■	1
2025/4/16	消	農薬 アセタミプリドー	1
2025/4/16	消	農薬 グリホサートー	1
2025/4/16	消	農薬 フサライドー	1
2025/4/16	消	農薬 エチプロールー	1
2025/4/16	消	農薬及び動物用医薬品 ジノテフラン■	1
2025/4/16	農	農薬 エチプロール※	1
2025/5/21	農	薬剤耐性菌 キノロン系合成抗菌剤が動物用医薬品として家畜に投与された場合に選択される薬剤耐性菌※	1
2025/6/19	消	農薬 シアン化水素☆	1
2025/7/30	農	農薬 シアナジン※	1
2025/7/30	消	農薬 シアナジンー	1
2025/7/30	消	農薬 シハロホップブチルー	1
2025/7/30	農	農薬 シハロホップブチル※	1
2025/7/30	農	農薬 プロマシル※	1
2025/7/30	消	農薬 プロマシルー	1
2025/7/30	農	農薬 メタミトロン※	1
2025/7/30	消	農薬 メタミトロンー	1
2025/7/31	農	遺伝子組換え食品等 チョウ目害虫抵抗性及び除草剤アセト乳酸合成酵素阻害剤耐性ダイズ(COR23134) ■	1
2025/8/1	消	遺伝子組換え食品等 チョウ目害虫抵抗性及び除草剤アセト乳酸合成酵素阻害剤耐性ダイズ(COR23134) (食品) ■	1
2025/10/22	農	農薬 インダノファン※	1
2025/10/22	農	農薬 トルクロホスメチル※	1
2025/10/22	農	農薬 フェントラザミド※	1
2025/10/22	消	農薬 インダノファンー	1
2025/10/22	消	農薬 トルクロホスメチルー	1
2025/10/22	消	農薬 フェントラザミドー	1

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2025/10/22	消	農薬 フェンメゾジチアズ■	1
2025/10/22	消	農薬 フロリルピコキサミド■	1
2025/10/31	消	遺伝子組換え食品等 SGR5株を利用して生産された2'-フコシルラクトース■	1
2025/11/19	農	肥料・飼料等 たん白質の加水分解により製造された塩酸L-ヒスチジンを原体とする飼料添加物■	1
2025/12/10	農	農薬 ピロキロン※	1
2025/12/10	農	農薬 S-メトラクロール※	1
2025/12/10	消	農薬 アシノナピル■	1
2025/12/10	消	農薬 イプトリアゾピリド■	1
2025/12/10	消	農薬 ピロキロンー	1
2025/12/10	消	農薬 メタラキシル及びメフェノキサム■	1
2025/12/10	消	農薬 メトラクロールー	1
2026/1/8	消	遺伝子組換え食品等 JPBL014株を利用して生産されたキシラナーゼ■	1
2026/1/28	農	肥料・飼料等及び薬剤耐性菌 セフキノム硫酸塩を有効成分とする牛及び豚の注射剤（コバクタノ／セファガード）■	2
2026/2/3	消	遺伝子組換え食品等 チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMZIR260系統（食品）■	1
2026/2/3	農	遺伝子組換え食品等 チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMZIR260系統（飼料）■	1
2026/2/19	消	農薬 イマザモックスアンモニウム塩■	1
2026/2/19	消	農薬 フルインダピル■	1
2026/3/6	消	遺伝子組換え食品等 Escherichia coli K-12 DH1 MDO MAP1001h株を利用して生産された2'-フコシルラクトース■	1
2026/3/6	消	遺伝子組換え食品等 H-ELP株を利用して生産された α -アミラーゼ■	1
2026/3/11	消	農薬 シアゾファミド■	1
2026/3/11	消	肥料・飼料等 プラドフロキサシン■	1
2026/3/24	消	遺伝子組換え食品等 除草剤グリホサート及びグルホシネート耐性ダイズDBN9004系統（食品）■	1
2026/3/26	農	遺伝子組換え食品等 除草剤グリホサート及びグルホシネート耐性ダイズDBN9004系統（飼料）■	1

228

(注)

－：食品安全基本法第24条第1項案件（企業申請を含まない）

☆：ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件

※：食品安全基本法第24条第3項に基づく意見聴取案件

■：食品安全基本法第24条第1項に基づく意見聴取案件かつ企業申請案件（平成22年1月1日以降委員会において説明したもののみ）

◎：食品安全基本法第23条第1項第2号による自ら評価案件

Ⅱ 専門調査会における審議結果（案）について意見募集を行っているもの

募集期間	対象となる審議結果（案）	
2026/2/12～2026/3/13	■ クロチアニジン	2
2026/2/12～2026/3/13	※ クロチアニジン	1
2026/2/12～2026/3/13	※ チアメトキサム	1
2026/2/12～2026/3/13	－ チアメトキサム	1
2026/3/4～2026/4/2	※ アラクロール	1
2026/3/4～2026/4/2	－ アラクロール	1

7

(注)

－：食品安全基本法第24条第1項案件（企業申請を含まない）

☆：ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件

※：食品安全基本法第24条第3項に基づく意見聴取案件

■：食品安全基本法第24条第1項に基づく意見聴取案件かつ企業申請案件（平成22年1月1日以降委員会において説明したもののみ）

◎：食品安全基本法第23条第1項第2号による自ら評価案件

Ⅲ 食品安全委員会において既に食品健康影響評価を終了したもの（令和7年度）

通知日	通知先	食品健康影響評価の対象	
2025/4/4	消	農薬 イソシクロセラム■	1
2025/4/4	消	農薬 シクロピラニル■	1
2025/4/9	消	肥料・飼料等 アセチルシステイン■	1
2025/4/9	農	肥料・飼料等 アセチルシステインを有効成分とする飼料添加物■	1
2025/4/18	農	動物用医薬品 動物用ワクチンの添加剤として使用する成分（L-グルタミン酸カリウム、マルトース）※	2
2025/4/22	消	肥料・飼料等及び農薬 オキシリニック酸 ■	2
2025/4/23	消	遺伝子組換え食品等 半矮性トウモロコシMON94804系統（食品）■	1
2025/4/23	農	遺伝子組換え食品等 半矮性トウモロコシMON94804系統（飼料）■	1
2025/4/23	消	農薬 チフルザミドー	1
2025/4/23	消	農薬 ブタクロールー	1
2025/5/14	厚	遺伝子組換え食品等 DHA産生及び除草剤グルホシネート耐性キャノーラ（NS-B50027-4）（食品）■	1
2025/5/14	農	動物用医薬品 食品健康影響評価について＜牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢2価・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス感染症混合ワクチン（シード）（キャトルマスターF P5）■	1
2025/5/14	農	動物用医薬品 豚繁殖・呼吸障害症候群生ワクチン（シード）（プリパセントPRRS20、同50、同100）■	1
2025/5/20	農	農薬 クロルベンジレート☆	1
2025/5/28	厚	農薬 クロルタールジメチル☆	1
2025/5/28	消	農薬 マンジプロパミド■	1
2025/6/4	消	肥料・飼料等 ジニトルミド☆	1
2025/6/4	消	農薬 ベンジルアデニン■	1
2025/6/4	消	農薬 スピロジクロフェン■	1
2025/6/4	農	肥料・飼料等 Trichoderma reesei RF5427株を利用して生産されたキシラナーゼを原体とする飼料添加物■	1
2025/6/4	農	肥料・飼料等 塩酸ロメフロキサシンを有効成分とする馬の点眼剤（ロメワン）（再審査）■	1
2025/6/4	農	動物用医薬品 d-クロプロステノールナトリウムを有効成分とする牛及び豚の注射剤（ダルマジンシンク）■	1
2025/6/12	農	農薬 キノクラミン※	1
2025/6/12	消	農薬 キノクラミンー	1
2025/6/19	農	微生物・ウイルス 家畜伝染病予防法施行令の一部改正について（高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザの対象家畜追加）ー	1
2025/6/25	消	農薬 エスプロカルブ※	1
2025/6/25	消	農薬 エタボキサム■	1
2025/6/25	消	農薬 スピネトラム■	1

Ⅲ 食品安全委員会において既に食品健康影響評価を終了したもの（令和7年度）

通知日	通知先	食品健康影響評価の対象	
2025/6/25	消	農薬 トリフロキシストロビン■	1
2025/6/25	消	農薬 ピカルブトラゾクス■	1
2025/6/25	消	農薬 ポリオキシンド亜鉛塩■	1
2025/6/26	厚	遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMON95275系統■	1
2025/6/26	農	遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMON95275系統■	1
2025/6/26	消	遺伝子組換え食品等 JAPAN011株を利用して生産されたセルラーゼ■	1
2025/6/26	消	遺伝子組換え食品等 AH-No. 1株を利用して生産されたL-カルノシン■	1
2025/6/26	消	遺伝子組換え食品等 ILE-No. 2株を利用して生産されたL-イソロイシン■	1
2025/7/3	消	農薬 メピコートクロリド■	1
2025/7/7	農	動物用医薬品 マイコプラズマ・シノビエ感染症凍結乾燥生ワクチン（シード）（ボックスオンMS生ワクチン）■	1
2025/7/9	農	肥料・飼料等 グアニジノ酢酸を有効成分とする飼料添加物■	1
2025/7/10	消	農薬 カルベンダジム、チオファネート、チオファネートメチル及びベノミル■〈一部☆〉	2
2025/7/10	農	農薬 カルベンダジム、チオファネート、チオファネートメチル及びベノミル■〈一部☆〉	2
2025/7/16	消	農薬及び動物用医薬品 イミダクロプリド■	2
2025/7/16	農	農薬 イミダクロプリド※	1
2025/7/23	農	動物用医薬品 グレプトフェロン及びトルトラズリルを有効成分とする豚の注射剤（フォーセリス注射液）■	1
2025/7/23	農	動物用医薬品 ケトプロフェンを有効成分とする牛の注射剤（ケトフィス）■	1
2025/7/23	消	農薬 オキサゾスルフィル■	1
2025/8/4	消	農薬 スピロピジオン■	1
2025/8/28	厚	添加物 亜硫酸ナトリウム■	1
2025/8/28	厚	添加物 次亜硫酸ナトリウム■	1
2025/8/28	厚	添加物 二酸化硫黄■	1
2025/8/28	厚	添加物 ピロ亜硫酸カリウム■	1

Ⅲ 食品安全委員会において既に食品健康影響評価を終了したもの（令和7年度）

通知日	通知先	食品健康影響評価の対象	
2025/8/28	厚	添加物 ピロ亜硫酸ナトリウム■	1
2025/8/28	農	農薬及び動物用医薬品 フィプロニル※	1
2025/8/28	消	農薬及び動物用医薬品 フィプロニルー	1
2025/9/4	農	遺伝子組換え食品等 Trichoderma reesei RF8694株を利用して生産されたフィターゼ■	1
2025/9/4	消	遺伝子組換え食品等 VAL-No. 6株を利用して生産されたL-バリン■	1
2025/9/4	消	遺伝子組換え食品等 除草剤グリホサート、グルホシネート及びジカンバ耐性テンサイ KWS20-1系統（食品）■	1
2025/9/4	消	遺伝子組換え食品等 除草剤グリホサート、グルホシネート及びジカンバ耐性テンサイ KWS20-1系統（飼料）■	1
2025/9/4	農	動物用医薬品 動物用ワクチンの添加剤として使用する成分（大腸菌J5株由来成分）※	1
2025/9/11	農	遺伝子組換え食品等 DHA産生及び除草剤グルホシネート耐性キャノーラ（NS-B50027-4）（飼料）■	1
2025/9/11	農	遺伝子組換え食品等 ML18456株を利用して生産したカンタキサンチン■	1
2025/9/11	農	農薬及び動物用医薬品 イソプロチオラン※	1
2025/9/11	農	農薬 チアジニル※	1
2025/9/11	消	農薬 メプロニル■	1
2025/9/11	消	農薬及び動物用医薬品 イソプロチオランー	1
2025/9/11	消	農薬 チアジニルー	1
2025/10/3	消	遺伝子組換え食品等 NGX株を利用して生産されたキシラナーゼ■	1
2025/10/3	消	農薬 イソチアニル■	1
2025/10/3	消	農薬 チオベンカルブー	1
2025/10/3	消	農薬 バリダマイシン■	1
2025/10/8	農	動物用医薬品 いのしし用の国産豚熱経口生ワクチンを摂取したいのししに由来する食品の安全性※	1
2025/10/9	農	薬剤耐性菌 ホスホマイシンナトリウムを有効成分とする牛の注射剤（動物用ホスミシンS（静注用））【再審査】■	1
2025/10/16	農	肥料・飼料等 たん白質の加水分解により製造されたL-イソロイシンを原体とする飼料添加物■	1
2025/10/16	農	肥料・飼料等 L-カルニチンを有効成分とする飼料添加物■	1
2025/10/30	消	遺伝子組換え食品等 チョウ目害虫抵抗性ワタMON15947系統（食品）■	1
2025/11/12	消	遺伝子組換え食品等 除草剤グルホシネート、ジカンバ、アリルオキシアルカノエート系及びトリケトン系耐性ダイズMON94313系統（食品）■	1
2025/11/12	農	遺伝子組換え食品等 除草剤グルホシネート、ジカンバ、アリルオキシアルカノエート系及びトリケトン系耐性ダイズMON94313系統（飼料）■	1
2025/11/12	消	遺伝子組換え食品等 チョウ目害虫抵抗性ダイズMON94637系統（食品）■	1
2025/11/12	農	遺伝子組換え食品等 チョウ目害虫抵抗性ダイズMON94637系統（飼料）■	1
2025/11/12	消	遺伝子組換え食品等 Bacillus subtilis NT106（pHYT2MPM）株を利用して生産されたマルトースホスホリラーゼ■	1
2025/11/12	農	肥料・飼料等 飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律第二条第三項の規定に基づく飼料添加物を定める件（昭和51年農林省告示第750号）の改正一	1

Ⅲ 食品安全委員会において既に食品健康影響評価を終了したもの（令和7年度）

通知日	通知先	食品健康影響評価の対象	
2025/11/26	消	遺伝子組換え食品等 高オレイン酸含有ダイズDP-305423-1並びに除草剤アリルオキシアルカノエート系、グリホサート及びグルホシネート耐性ダイズ44406系統の掛け合わせ品種■	1
2025/11/26	農	肥料・飼料等 けい酸加里肥料■	1
2025/12/3	厚	農薬 スルホスルフロン☆	1
2025/12/3	厚	農薬 ペンチオピラド■	1
2025/12/18	消	農薬 キザロホップエチル及びキザロホップPテフリル■	1
2025/12/18	消	農薬 ピフルブミド■	1
2025/12/18	消	農薬 フェンメディファムー	1
2025/12/24	農	肥料・飼料等 肥料の品質の確保等に関する法律第3条第1項に基づく普通肥料の公定規格の改正について（被覆複合肥料）■	1
2025/12/24	消	農薬 ポスカリド■	1
2025/12/24	消	遺伝子組換え食品等 KY10995/pAM7-122株を利用して生産された5-アミノレブリン酸リン酸塩■	1
2026/1/14	厚	農薬及び動物用医薬品 ピペロニルブトキシド☆	2
2026/1/14	農	農薬 ピペロニルブトキシド☆	1
2026/1/14	消	遺伝子組換え食品等 pLps株を利用して生産されたリパーゼ■	1
2026/1/14	消	遺伝子組換え食品等 Escherichia coli K-12 W3110 (pWKLP2) 株を用いて生産されたプシコースエピメラゼ■	1
2026/1/22	農	農薬 ベンゾビシクロン※	1
2026/1/22	消	農薬 ベンゾビシクロンー	1
2026/1/22	消	農薬 ピラクロストロビン■	1
2026/1/22	消	農薬 フェナザキン■	1
2026/1/22	消	農薬 メトブロムロン■	1
2026/2/4	厚	プリオン ポーランドから輸入される牛肉及び牛の内臓について※	1
2026/2/4	消	遺伝子組換え食品等 STC2208株を利用して生産されたβ-ニコチンアミドモノヌクレオチド■	1
2026/2/4	農	遺伝子組換え食品等 Trichoderma reesei RF5427株を利用して生産されたキシラーナーゼ■	1
2026/2/25	消	農薬 アクリナトリンの残留基準に係る食品名の記載整備並びに2, 4, 5-T試験法、カプタホール試験法及びダミノジッド試験法の削除☆	1
2026/2/25	消	農薬 DCIP☆	1
2026/2/25	消	農薬 アメトリン☆	1
2026/2/25	消	農薬 イソフェンホス☆	1
2026/2/25	消	農薬 イプロベンホス☆	1
2026/2/25	消	農薬 エトフメセート☆	1

Ⅲ 食品安全委員会において既に食品健康影響評価を終了したもの（令和7年度）

通知日	通知先	食品健康影響評価の対象	
2026/2/25	消	農薬 エトリジアゾール☆	1
2026/2/25	消	農薬 オキサジキシル☆	1
2026/2/25	消	農薬 オリザリン☆	1
2026/2/25	消	農薬 カルプロパミド☆	1
2026/2/25	消	農薬 キナルホス☆	1
2026/2/25	消	農薬 クロルピリホス☆	1
2026/2/25	消	農薬 ジクロフルアニド☆	1
2026/2/25	消	農薬 シクロプロトリン☆	1
2026/2/25	消	農薬 ジクロメジン☆	1
2026/2/25	消	農薬 ジフェニル☆	1
2026/2/25	消	農薬 シラフルオフエン☆	1
2026/2/25	消	農薬 デメトン-S-メチル☆	1
2026/2/25	消	農薬 ニコチン☆	1
2026/2/25	消	農薬 ピラクロホス☆	1
2026/2/25	消	農薬 フェノキシカルブ☆	1
2026/2/25	消	農薬 ブタフェナシル☆	1
2026/2/25	消	農薬 ブピリメート☆	1
2026/2/25	消	農薬 フルアクリピリム☆	1
2026/2/25	消	農薬 フルミクロラックペンチル☆	1
2026/2/25	消	農薬 ブロモプロピレート☆	1
2026/2/25	消	農薬 ベンダイオカルブ☆	1
2026/2/25	消	農薬 ホメサフェン☆	1
2026/2/25	消	農薬 メタベンズチアズロン☆	1
2026/2/25	消	農薬 モノクロトホス☆	1
2026/2/25	消	農薬 2,4,5-T☆	1
2026/2/25	消	農薬 カプタホール☆	1
2026/2/25	消	農薬 ダミノジッド☆	1
2026/2/25	消	農薬 アフィドピロペン■	1

Ⅲ 食品安全委員会において既に食品健康影響評価を終了したもの（令和7年度）

通知日	通知先	食品健康影響評価の対象	
2026/2/25	消	農薬 クロラントラニリプロール■	1
2026/2/25	消	農薬 フェリムゾン※	1
2026/2/25	消	農薬 ペントキサゾン※	1
2026/3/5	消	遺伝子組換え食品等 DN-E4株を利用して生産されたL-エルゴチオネイン■	1
2026/3/11	消	遺伝子組換え食品等 Bacillus subtilis NT106 (pHYT2PsBG) 株を利用して生産されたβ-グルコシダーゼ■	1
2026/3/11	消	農薬 ニトラピリン■	1
2026/3/25	農	動物用医薬品 豚サーコウイルス（2型・組換え型）感染症・豚繁殖・呼吸障害症候群・マイコプラズマ・ハイオニューモニエ感染症（カルボキシビニルポリマーアジュバント加）混合ワクチン（シード）（インゲルバック 3フレックス）■	1
2026/3/31	消	遺伝子組換え食品等 RFE8922株を利用して生産されたリボフラビン■	1
2026/3/31	農	肥料・飼料等 飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令（昭和51年農林省 令第35号）の改正（アンプロリウム・エトパペート及びアンプロリウム・エトパペート・スルファキノキサリン）－	1

152

(注)

－：食品安全基本法第24条第1項案件（企業申請を含まない）

☆：ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件

※：食品安全基本法第24条第3項に基づく意見聴取案件

■：食品安全基本法第24条第1項に基づく意見聴取案件かつ企業申請案件（平成22年1月1日以降委員会において説明したもののみ）

◎：食品安全基本法第23条第1項第2号による自ら評価案件

11-1：食品安全基本法第11条第1項第1号案件

11-2：食品安全基本法第11条第1項第2号案件

IV その他（令和7年度）

通知日	通知先	件名
2025/4/23	消	食品衛生法（昭和22年法律第233号）第13条第1項の規定に基づき定められた「食品、添加物等の規格基準」（昭和34年厚生省告示第370号）を改正すること
2025/5/14	農	家畜伝染病予防法施行規則（昭和26年農林省令第35号）の一部改正について
2025/5/14	農	家畜伝染病予防法（昭和26年法律第166号）第62条第1項に基づく政令指定について
2025/5/14	厚	と畜場法施行規則（昭和28年厚生省令第44号）の一部改正について
2025/5/28	消	食品、添加物等の規格基準（昭和34年厚生省告示第370号）第3 器具及び容器包装の部A 器具若しくは容器包装又はこれらの原材料一般の規格の項第9款に規定する安全性審査の手續の制定
2025/11/12	農	飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令別表第2の8の改正（飼料添加物の規格基準の規定順改正）
2026/2/18	消	食品衛生法（昭和22年法律第233号）第13条第1項の規定に基づき定められた「食品、添加物等の規格基準」（昭和34年厚生省告示第370号）を改正
2026/3/31	農	家畜伝染病予防法第2条第1項に係る政令の改正及び同法第62条第1項に係る政令の廃止
2026/3/31	厚	と畜場法施行規則の一部改正について
2026/3/31	農	飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令（昭和51年農林省令第35号）別表第2の6及び8の改正